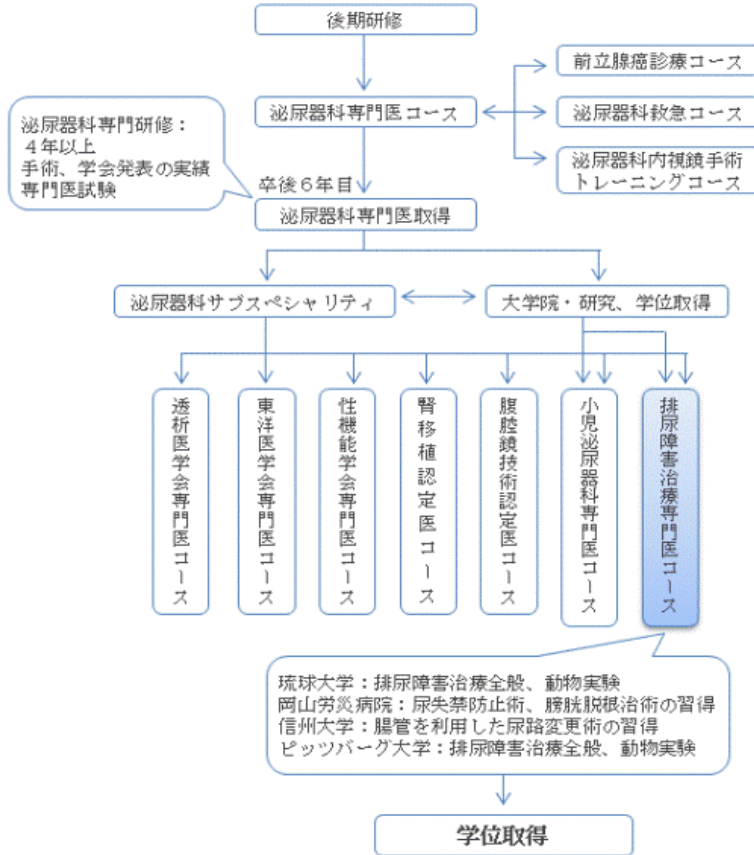


■ 排尿障害治療専門コース

<コースの全体像>

排尿障害は泌尿器科外来患者の疾患のなかで最も多く、本邦や欧米先進国では高齢者のQOLを低下させる第一の要因に挙げられている。しかし難治性の下部尿路症状もあり、しばしば治療に何十するため、泌尿器科医であっても排尿障害に対して理解が不足している場合がある。その理由は、下部尿路症状を呈している根本原因をつかみきれていないためである。本コースでは排尿障害専門医コースとして、琉球大学医学部附属病院や米国ピッツバーグ大学の泌尿器科排尿障害外来や尿失禁外来で実際に患者を診察しながら、診断法、治療法など排尿障害全般について研修する。また、神経因性膀胱の管理、尿失禁防止術、膀胱脱根治療や腸管利用尿路変更術を習得し、最終的には学位取得を目指して研究に裏打ちされた自信ある診療ができるようにすることを目標とする。



<コースの概要>

大学病院・医療機関名	診療科名	専門分野名	指導者数	目的	期間
琉球大学医学部附属病院	泌尿器科	神経泌尿器科	4名	排尿障害治療全般、排尿障害動物実験で理解を深める	2年
ピッツバーグ大学	泌尿器科および薬理学科	神経泌尿器科および排尿薬理学	1名	排尿障害治療全般、排尿障害動物実験で理解を深める	1~2年
		受入人数	4名		

<コースの実績>

琉球大学医学部附属病院には尿失禁外来があり、難治性排尿障害を有する紹介患者の診察治療にあたっており、尿失禁防止術や膀胱脱根治療をそれぞれ20例以上経験している。ピッツバーグ大学泌尿器科と薬理学科は共同研究体制にあり、排尿障害研究の世界の中心的存在である。<コースの指導状況>各施設の指導者はいずれも泌尿器科専門医かつ指導医の資格を有しており、排尿障害は無論のこと泌尿器科全般に渡って指導可能である。

<専門医の習得後>

学会等名	日本排尿機能学会
資格名	なし
資格要件	なし

学会の連携等の概要

日本排尿機能学会へ入会し、年1回以上の学会発表をする。本コースに関連する学会等の専門医制度はないが、コース終了後最終的には学位取得を目指す。大学院生として本コースを選択することも可能である。